



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより

令和2年5月1日発行

学校の再スタートは延期

1か月間待った再登校、子どもたちとの再スタートは延期となってしまいました。誰にとっても我慢の時間が続くことになり、本当に残念です。

先日、ある相談センターに寄せられた件数の多いものとして、勉強や将来が不安なこと、友達と話せないこと、家族に叱られることが挙げられていました。子どもたちの切実な思いが反映されているように思います。特に学習面については大きな課題です。特に学習の習慣をつけることはどの学年の子どもにも大切です。そこで、各学年で週に1回学習課題を決め、それをホームページで更新していきます。他にもむさまるのぬり絵や教職員からのメッセージ、自宅で過ごすため本の貸出や担任からご家庭への連絡など、子どもたちのために今できることはないかを模索しているところです。



さて、4月号には学校経営方針をお示しいたしました。学校再開に向けこの期間に様々な土台作りを進めています。その1つとして、上のように本校教育の目指すものを表す「グランドデザイン」を作成しました。（詳細はHPをご覧ください。）

今年度、本校で重視することの1つに、「ほめて伸ばす教育」があります。これは、学校は子どもたちのよさや可能性を伸ばすためにあるという考えによるものです。もちろん、ほめるだけで子どもが育つわけではありません。しかし、子どもたちが意欲を高め、自信をもち、自分のよさを発揮できるようにするためには、これ以外の道はないと考えています。今後も各ご家庭や地域の皆様との連携を図りながら、再開後の教育活動を着実に進めたいと考えていますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす